

西区環境まちづくり協議会設立 10 周年記念誌

環境に優しいまちを 目指して



西区環境まちづくり協議会

西区環境まちづくり協議会設立 10 周年記念誌

環境に優しいまちを 目指して



三角山

西区環境まちづくり協議会

目次

西区環境まちづくり協議会会長あいさつ	4
--------------------	---

西区長あいさつ	5
---------	---

第1章 環境に優しいまち西区

第1節 自然に恵まれたまち	6
---------------	---

第2節 環境活動に熱心なまち	7・8
----------------	-----

琴似発寒川の一斉清掃
やまめの稚魚放流・サクラマス遡上観察会
西区アダプト・プログラム
キャンドルナイト
エコタウンはっさむ

第2章 西区環境まちづくり協議会 10年の歩み

第1節 地球に優しいまちづくりを進める西区民会議の設立	9
-----------------------------	---

設立記念講演会

第2節 西区環境まちづくり協議会の変遷	10・11
---------------------	-------

第3節 西区環境まちづくり協議会 活動年表	12～17
-----------------------	-------

第3章 環境に優しいまちを実現するために～活動紹介～

第1節 子ども向け環境教育	18
---------------	----

エコキッズ・プログラム	18
-------------	----

西区コドモ自然学校	19
-----------	----

自然遊び本「春夏秋冬～親子で遊びたい～」	19
----------------------	----

西区子ども体験学校	20
-----------	----

西区PTA子ども作品コンクール	20
-----------------	----

第2節 省エネ・リサイクルの推進	21
------------------	----

木質バイオマス普及促進事業	21・22
---------------	-------

新エネルギー講演会

環境にやさしい森林エネルギーシンポジウム

地球に優しい森林エネルギーセミナー

ペレットストーブモニター制度

新エネルギー教室	22
----------	----

廃食油の独自回収	23
----------	----

廃食油回収・リサイクルの見える化

ごみダイエット 裏ワザ・裏側バスツアー	24
---------------------	----

第3節 次世代実践者の育成	25
---------------	----

西区環境まちづくりリーダー講習会	25
------------------	----

こどもによるまちづくりを進める西区民会議	26・27
----------------------	-------

さんかくやまベエかるた

こども環境記者

コラム 環境活動手引き絵本「さんかくやまベエが行く。」

こども環境活動発表会	28
------------	----

第4節	メディアを用いた環境啓発	29
	コミュニティFM「三角山放送局」にのせて	29・30
	西区エコびとマップ	
	地球に優しいごみ出し大百科	
	楽しくステキにカーシェアリング！	
	新エネルギー・自然エネルギー	
	ガマンいらずの気持ちイイ節電	
	西区エコびと図鑑	
	わたしの提言エコトーク～これからの西区の環境活動～	
	さまざまなメディアにのせて	31
	ホームページ、ブログ	
	地域情報誌「ウォーク」	
	広報さっぽろ西区版	
第5節	区民とともに広げる環境活動	32
	“地球に優しいまちづくり” 活動報告会とセミナー	32
	コラム エコライフ宣言西区1万人認定式	
	コラム エコトーク映画会	
	エコまち西区deリレーイベント	33
	さんかくやまべと行く親子エコツアー	
	みんなdeおもてなし清掃	
	三角山deエコメッセージ	
	西区こども環境広場	34

第4章 活動者の声

二十四軒連合町内会	会長 河崎 快二	35
西野連合町内会	会長 佐藤 功悦	35
NPO法人環境り・ふれんず	代表理事 東 飛郎	36
NPO法人あそベンチャースクール	代表理事 田中 住幸	36
公社)札幌市子ども会育成連合会西区支部	副会長 中野 真理子	37

巻末資料

地球に優しいまちづくりを進める西区民会議設立趣旨書	38
西区民会議のあり方	39
西区民会議・今後の展開方針	39
廃食油の回収拠点	40
こども環境活動発表会・発表者	41
西区エコびとマップ テーマ・ゲスト一覧	42
西区環境まちづくり協議会の構成団体	43

会長あいさつ

10年の活動を振り返って



長年に渡り、西区内で行われてきた環境保全活動を継続し、西区の自然をきれいなまま後世まで引き継ぎたいという思いから、各連合町内会をはじめ、NPO法人や学校、企業など有志一同が手を合わせ、平成16年5月に「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」を設立しました。

それから10年が経過し、平成26年4月に、区民への環境活動の定着をさらに進めるため、団体名称を「西区環境まちづくり協議会」へと、より親しみやすいものに変更し、「環境教育・人づくり」「環境保全」「省エネ・リサイクル」の3つの方針の下、各種環境事業を展開しています。

現在では、「やまめの稚魚放流」や「西区アダプト・プログラム」など従来より行っている活動の継続に加え、自然体験学習を中心とする、さまざまな新規事業を試み、当協議会の活動は年々規模を拡大しています。

地域の課題としては、環境活動の担い手不足を懸念する声がありますが、そうした課題解決に向け、当協議会では、次世代実践者の育成を目的として、イベント等を通じて、小学生やその親などを中心に、幅広い世代への環境啓発を行っているところです。

今後も、当協議会を中心に西区が一丸となり、環境に配慮した取り組みを進めてまいりますので、引き続き西区の環境活動について、何卒ご協力・ご支援の程、お願い申し上げます。

平成27年3月

西区環境まちづくり協議会 会長 河村 雄司

西区長あいさつ

設立 10 周年を祝して



西区環境まちづくり協議会が、設立 10 周年という節目の年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。また、設立されてからこれまで、ご尽力された関係者の皆様に深く感謝と敬意を表します。

環境問題に対する関心が年々高まっているということもありますが、これまで継続してきた地道な取組を通して、環境に配慮した行動の数々が確実に我々の生活に定着し、西区環境まちづくり協議会が目指している「環境に優しいまち」の実現に向けて一歩ずつ近づいていることを実感しています。

札幌市では、まちの魅力を高め、次の世代に引き継いでいくための今後 10 年間の新たなまちづくりの指針として、平成 25 年に「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を策定いたしました。このビジョンにおいて、「自然と共生するまち」「資源やエネルギーを有効活用するまち」「市民が環境について学び行動するまち」にすることを基本目標にあげ、次世代へつなげる持続可能なまちづくりを目指しています。

環境問題が多岐にわたる現在、札幌市、そして西区の恵まれた自然を次世代へつなげていくためには、地域・企業・行政が連携・協力しながら、取り組んでいく必要があります。そうしたなか、西区環境まちづくり協議会が西区全体をつなげる重要な役割を担っていることを大変心強く感じています。

西区役所といたしましても、「環境に優しいまちづくり」を積極的に進めていくとともに、区一丸となった環境活動がさらなる広がりをもたせることを祈念しております。

平成 27 年 3 月

西区長 広川 英人



第1章 環境に優しいまち西区

第1節 自然に恵まれたまち

西区は、三角山や手稲山、五天山など、周りを山々に囲まれた緑豊かな区です。

また、区を中心を流れる琴似発寒川は、手稲山を源流とした河川で、川沿いには緑地や公園が整備されています。上流にある平和の滝や川沿いの西野ふれあい広場などでは、水と親しみながら気軽に遊ぶことができ、区民の憩いの川として親しまれています。

こうした自然に恵まれた西区では、季節ごとに自然の変化が感じられるとともに、秋には琴似発寒川にサケやサクラマスが遡上するなど、豊かな生態系を間近で見ることができます。



春の発寒河畔公園



夏の琴似発寒川



秋の農試公園



冬の五天山公園



第2節 環境活動に熱心なまち

緑豊かな自然を守るために、西区では、地域住民が主体となり、以下のような環境活動が、積極的に行われてきました。

琴似発寒川の一斉清掃

魅力あるきれいな琴似発寒川を守るために、春と秋の年2回、琴似発寒川と左股川の河川敷、計12キロの区間を清掃しています。この清掃活動は、区内全ての連合町内会からなる実行委員会が、平成2年から実施しているもので、町内会のほか、地元企業や学校など、毎回、約2,000人が参加しています。



春の清掃活動

やまめの稚魚放流・サクラマス遡上観察会

「私たちの故郷の川として将来とも、より親しめるように守っていききたい」（平成21年・稚魚放流事業実行委員会発行『稚魚放流事業20周年記念誌』より）という想いから、西野地区の住民が「琴似発寒川を守る会」を結成し、平成元年に初めて、琴似発寒川の上流の平和湖に、10,000匹のやまめやニジマスなどを放流しました。現在では、区内全ての連合町内会が参加し、6会場（※）において約29,000匹のやまめの稚魚が放流されています。

また、毎年秋になると、放流されたやまめの稚魚が成魚サクラマスとなって、母なる川である琴似発寒川に遡上する姿が見られ、小学生を対象に観察会が実施されています。

※やまめの稚魚放流会場

（平成26年度現在）

平和湖会場、福井えん堤会場、西野ふれあい広場会場、
仲よし橋会場、かもめ橋会場、いたどり橋会場



サクラマスの遡上観察会



やまめの稚魚放流

西区アダプト・プログラム

北海道内で初となる「アダプト・プログラム(※)」がスタートしたのは、平成13年5月。琴似栄町通のごみ散乱対策として、琴似商店街振興組合が始めました。以降、活動に参加する団体は増え続け、平成27年3月現在、39団体が参加し、清掃活動のほか、電柱に貼られた違反広告物の除去や、雪国である札幌ならではの活動として、冬道の転倒防止のための歩道への砂まき活動を行っています。

※ アダプト・プログラム

地域住民、学校、企業と行政が互いに役割分担を決めて、道路や公園などの公共の場所の清掃を行う活動のこと。なお、アダプトとは「養子縁組」の意味で、「自分の子どもを慈しむように愛情をもってお世話していこう」ということから名付けられたもの。

陵北中学校による清掃活動



キャンドルナイト

琴似地区では、町内会、商店街、小学校などが協力して「キャンドルナイト(※)」を実施しています。毎年、琴似小学校5年生が、手作りキャンドルとポスターを琴似商店街各店舗や公共施設等に配布するほか、地域コミュニティFM番組に出演し、ライトダウンの呼び掛けを行っています。夏至の日には、琴似商店街の各店舗で一斉にライトダウンが行われ、省エネルギーに対する意識啓発のほか、街がキャンドルの明かりに包まれ、魅力ある景観づくりにも貢献しています。



小学生が書いたポスターが飾られた店舗

※ キャンドルナイト

1年で最も昼の時間が長い夏至の日の夜に、家庭や商店などで自主的に電気を消して、キャンドルの明かりの下で、省エネルギーや大気環境保全について考えながら過ごす、全国的なイベント。

エコタウンはっさむ

発寒地区では、町内会や商店街、子ども会、小学校などが連携して平成20年7月にエコタウンはっさむ実行委員会を設立し、公園内の落ち葉の堆肥化や、使用済み天ぷら油の回収とリサイクル体験(せっけん・ろうそく作り)、環境施設見学会など、環境を切り口としたにぎわいのあるまちづくりに取り組んでいます。

こうした活動が認められ、平成22年11月に「第2回さっぽろ環境賞」の循環型社会形成部門において札幌市長賞を受賞し、現在も、発寒まちづくりセンターを拠点に、大人だけではなく、子どもたちも企画・運営に主体的に関わり、地域密着型の環境活動を進めています。



廃食油を使ったせっけん作り

第2章 西区環境まちづくり協議会 10年の歩み

第1節 地球に優しいまちづくりを進める西区民会議の設立

長年にわたり地域住民が中心となって行ってきた環境保全活動をさらに広げ、区民が一丸となって環境に配慮したまちづくりに取り組んでいくため、平成16年5月に、区内全ての連合町内会や学校、PTA、企業、商店街などが発起人となり、「西区環境まちづくり協議会（以下「区民協議会」という。）」の前身である「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議（呼称：西区民会議）」が設立されました。区民協議会の設立により、それまで個別に活動していた区民、企業、行政が、互いに協力・連携することで、新たな環境活動の始まりを迎えました（設立趣旨書：巻末資料38ページ参照）。

設立記念講演会

区民協議会の設立を記念し、活動の第一歩として、平成16年5月28日に、札幌市生涯学習センター「ちえりあ」内ちえりあホールにて、設立記念講演会を開催しました。当日は、区民はもちろん、区外からも多くの市民が集まり、区民協議会に対する区民、そして札幌市民の期待の高さがうかがわれました。

講演会に先立ち、設立発起人代表・近藤勝雄氏が「気軽に参加できる会議として、家庭、学校、地域に広めていきたい」と述べ、また、上田文雄市長からは、「世界に誇れる環境のまちになるため、手を取り合ってまちづくりを進めるよう協力をお願いしたい」とのエールが送られました。

続いて、NPO法人環境文化のための対話研究所代表理事・嵯峨創平氏による『「地球に優しいまちづくり」に向けた対話と実践のすすめ」と題した基調講演が行われ、地域の遺産・記憶の重要性や、地域の学校としての「エコミュージアム」のすすめなど、今後、区民協議会が環境活動を取り組むうえで参考となる事例が、数多く紹介されました。

この設立記念講演会を機に、多くの区民が環境問題に関心を持ち、現在までの活動へとつながっています。



設立発起人代表・近藤氏によるあいさつ



嵯峨氏による基調講演

第2節 西区環境まちづくり協議会の変遷

第1期／平成16年度～

区民協議会設立に大きく寄与した発起人は、引き続き、区民協議会の幹事に就任しました。この幹事が中心となり、区内の連合町内会や小中学校、PTA、企業、商店街等からなる幹事会を年数回開催し、区民協議会の活動方針を決定するほか、幹事会構成団体間で環境活動の情報共有や情報交換を行うなど、これまで個別に活動していた各団体の連携強化を図りました。



幹事会

第2期／平成20年度～

テーマ部会、企画部会

平成19年6月28日に開催された幹事会において「西区民会議のあり方(巻末資料39ページ参照)」が決定され、その実現のため、子どもたちに環境教育を行う「こども・自然環境部会」、家庭や職場で身近に取り組める環境活動を提案・実践する「エコライフ・リサイクル部会」、区民協議会の活動や環境に優しい活動を広く知らせる「広報部会」の3部会からなる「テーマ部会」を平成20年3月に設立しました。

これは、多岐にわたる環境活動をテーマ(分野)別に分けることで、より機動力のある組織を目指したもので、このテーマ部会が設立されたことにより、それぞれのテーマ(分野)に特化した特色のある事業が企画されました。

さらに、平成22年2月には、各テーマ部会の代表からなる「企画部会」を創設し、テーマ部会間での情報交換を行い、連携事業の企画を行いました。



テーマ部会(こども・自然環境部会)

本会議

テーマ部会の設立を機に、これまでの「幹事会」を廃止し、幹事会構成団体と3つのテーマ部会の代表、副代表からなる「本会議」を創設しました。以降、この本会議が区民協議会の最高意思決定機関として機能することになりました。



第3期／平成26年度～

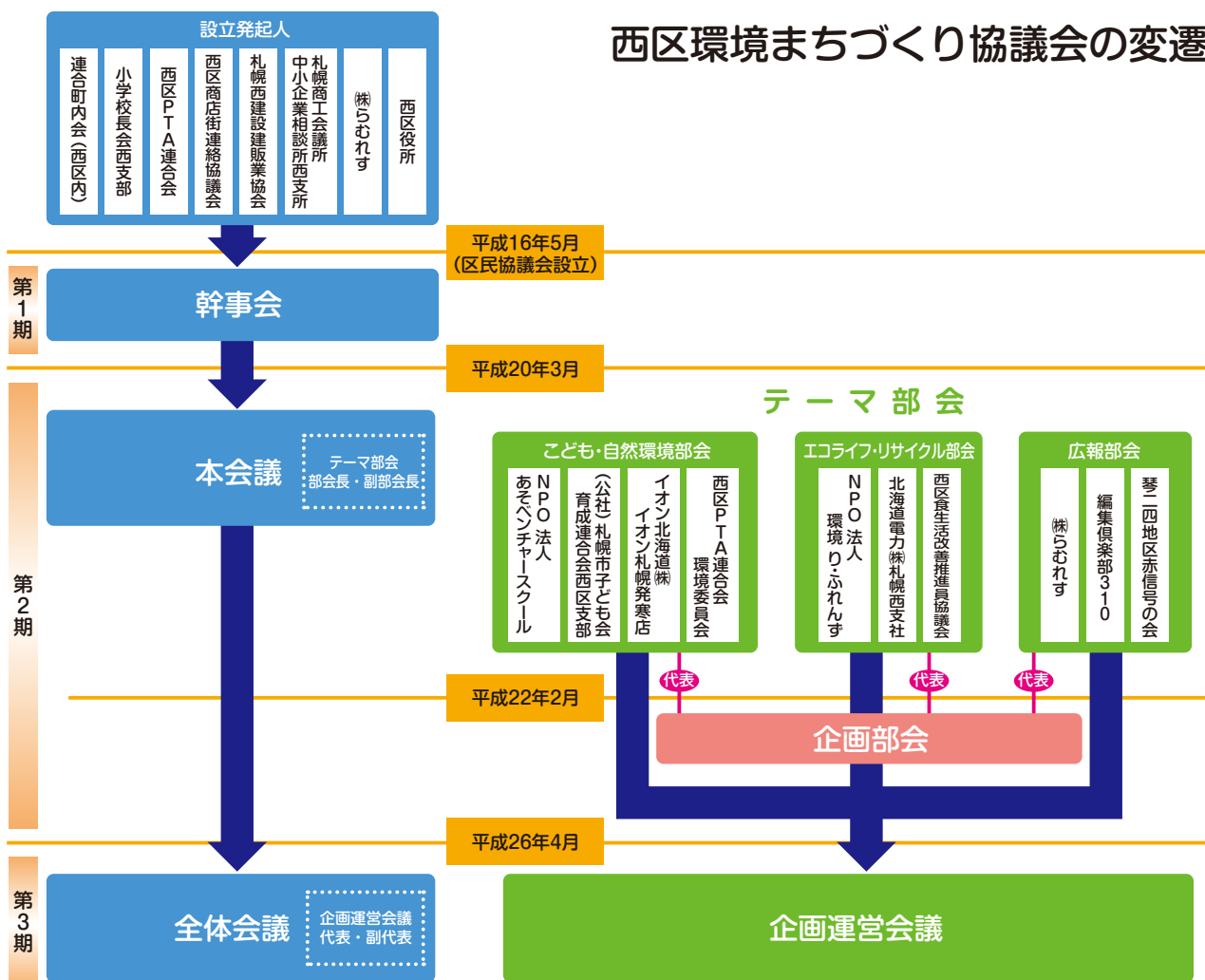
設立10周年を翌年に控え、これまで地域で培われた環境活動を継続し、より一層推進するため、平成25年6月27日に開催された本会議において、「西区民会議・今後の展開方針（巻末資料39ページ参照）」が決定されました。

そして、さらにより連携のとれた効率的な組織を目指し、平成26年4月に団体名称を「西区環境まちづくり協議会」に変更するとともに、体制の再編が行われました。

まず、専門分野を異にする団体が一堂に会することで、より複合的な事業展開が期待できるよう、これまで各専門分野に分かれて活動していた3つのテーマ部会を統合し、「企画運営会議」としました。また、最高意思決定機関である「本会議」を「全体会議」と名称変更しました。

さらに、環境活動に取り組む団体や企業を開拓し、「西区環境サポーター」として登録することで、区民協議会の輪を広げています。

西区環境まちづくり協議会の変遷



※平成27年3月時点での区民協議会構成団体のみ掲載。

第3節 西区環境まちづくり協議会 活動年表

西 区			関連 ページ	札幌市	
16 年 度	5月	地球に優しいまちづくりを進める西区民会議設立	9	4月	87カ所の出張所・連絡所を「まちづくりセンター」に改編
		琴似発寒川の一斉清掃(春季)	7		
		やまめの稚魚放流	7		
		設立記念講演会	9		
	6月	キャンドルナイト	8		
	7月	新エネルギー教室	22		
	8月	水生生物観察会	18		
		ラジオ「西区エコびとマップ」放送開始(全32回)	29		
	9月	西区民会議ホームページ開設(～21年度)	31	9月	第1次札幌新まちづくり計画策定 (西区を「環境モデル区」に位置付け)
		区民協議会・幹事会	10		
		琴似発寒川の一斉清掃(秋季)	7		
	2月	区民協議会・幹事会	10	2月	さっぽろエコライフ10万人宣言開始
	3月	"地球に優しいまちづくり"活動報告会とセミナー	32		
17 年 度	5月	琴似発寒川の一斉清掃(春季)	7		
	6月	やまめの稚魚放流	7		
		区民協議会・幹事会	10		
		キャンドルナイト	8		
	7月	水生生物観察会	18	7月	モエレ沼公園グランドオープン
	8月	新エネルギー教室	22	8月	ポイ捨て等防止条例施行
	9月	琴似発寒川の一斉清掃(秋季)	7		
	10月	美味しいエコフェスタ ^{*1}	12		
	12月	区民協議会・幹事会	10		
		こどもエコnet・リーダー会議(電子掲示板)開設	31		
		西区エコライフセミナー (新エネルギー講演会・こども環境活動発表会)	21・28		
	2月	エコライフ宣言・西区宣言者1万人到達	32		
	3月	環境にやさしい森林エネルギーシンポジウム	21		
		"地球に優しいまちづくり"活動報告会とセミナー エコライフ宣言・西区1万人認定式	32		

※青字が区民協議会主催の事業



試食コーナー(スープカレー)



野菜直売会

* 1 美味しいエコフェスタ
(平成17～21年度)

収穫の秋に地元で採れる食材のおいしさを味わいながら、地産地消について考えてもらうことを目的に、三連合町内会(西町・西野・昭和)、札幌市農業協同組合西町支店、西区役所が実行委員会を組織し開催したイベント。区内で収穫された野菜を使った試食コーナーや貫田桂一氏や井手剛氏による道産食材をテーマとしたトークショーなど、「食」にちなんだ多くの催しを実施した。

西 区			関連 ページ	札幌市	
18 年 度	4月	区民協議会・幹事会	10		
	5月	琴似発寒川の一斉清掃(春季)	7		
		やまめの稚魚放流	7		
	6月	キャンドルナイト	8		
	7月	水生生物観察会	18		
	9月	ペレットストーブモニター制度開始(～19年度)	22		
		琴似発寒川の一斉清掃(秋季)	7		
		美味しいエコフェスタ* ¹	12		
	10月	エコライフ宣言・西区宣言者2万人到達	32	10月	エコライフ宣言・札幌市宣言者10万人到達(10万人目が西区民)
					札幌市自治基本条例制定
	11月	エコライフ宣言・西区2万人認定式	32		
	12月	西区PTA子ども作品コンクール表彰式・こども環境活動発表会	20・28		
		ペレットストーブモニター認定式 (第1号・Cafe-lunch 斉藤ファーム)	22		
	2月	"地球に優しいまちづくり"活動報告会とセミナー	32		
19 年 度		区民協議会・幹事会	10		
	3月	西区民会議ホームページ英語版開設(～21年度)	31		
		地球に優しい森林エネルギーセミナー	22		
	5月	琴似発寒川の一斉清掃(春季)	7	5月	札幌市水道記念館リニューアルオープン
		区民協議会・幹事会	10		
		やまめの稚魚放流	7		
	6月	キャンドルナイト	8		
		区民協議会・幹事会	10		
	8月	水生生物観察会	18		
	9月	琴似発寒川の一斉清掃(秋季)	7		
		美味しいエコフェスタ* ¹	12		
	12月	西区PTA子ども作品コンクール表彰式・こども環境活動発表会	20・28	12月	第2次札幌新まちづくり計画策定
				1月	札幌市創建140年
	2月	区民協議会・幹事会	10		
	3月	区民協議会・テーマ部会設立	10	3月	スリムシティさっぽろ計画策定
		区民協議会・テーマ部会	10		
		"地球に優しいまちづくり"活動報告会とセミナー	32		

※青字が区民協議会主催の事業



出発記念式典

*2 電気自動車による公用車のカーシェアリング (平成21～23年度)

区役所職員が外勤時に使用する公用車を空き時間に市民に貸し出し、共同で利用する取り組み。公用車には、CO₂の排出が少なく環境に優しい電気自動車を使用することで、電気自動車の普及啓発を図るとともに、将来的に電気自動車を公用車として導入する上での課題についても検証した。

西 区			関連 ページ	札幌市	
20 年 度	5月	琴似発寒川の一斉清掃(春季)	7	4月	札幌市市民まちづくり活動促進条例施行
		やまめの稚魚放流	7		
		区民協議会・テーマ部会	10		
	6月	さんかくやまべと行く親子エコツアー	33	6月	「環境都市・札幌」宣言
		キャンドルナイト	8		
		区民協議会・本会議	10		
	7月	みんなdeおもてなし清掃	33		
		三角山deエコメッセージ	33		
	8月	区民協議会・テーマ部会	10		
		西区子ども体験学校	20		
	9月	琴似発寒川の一斉清掃(秋季)	7		
		美味しいエコフェスタ*1	12		
	11月	廃食油の独自回収開始	23		
		区民協議会・本会議	10		
	12月	西区PTA子ども作品コンクール表彰式・こども環境活動発表会	20・28		
	1月	区民協議会・テーマ部会	10		
	2月	区民協議会・本会議	10		
	3月	"地球に優しいまちづくり"報告会とセミナー	32		
21 年 度	5月	琴似発寒川の一斉清掃(春季)	7		
		やまめの稚魚放流	7		
	6月	エコキッズ・プログラム(通年)	18		
		ラジオ「地球に優しいごみ出し大百科」放送開始(全13回)	29		
		キャンドルナイト	8		
		ごみダイエット 裏ワザ・裏側バスツアー	24		
		区民協議会・本会議	10		
	7月	区民協議会・テーマ部会	10	7月	家庭ごみ有料化などの新ごみルール開始
	8月	西区子ども体験学校	20		
	9月	琴似発寒川の一斉清掃(秋季)	7		
		美味しいエコフェスタ*1	12		
	11月	電気自動車による公用車のカーシェアリング実証実験開始*2	13		
	12月	西区PTA子ども作品コンクール表彰式・こども環境活動発表会	20・28		
	1月	こども西区民会議「さんかくやまべかるた」完成	26		
		区民協議会・テーマ部会	10		
	2月	地球に優しいまちづくりフォーラム	32		
		区民協議会・本会議	10		

※青字が区民協議会主催の事業



打ち水体験



竹水鉄砲作り

*3 竹水鉄砲作り教室 “竹水鉄砲で打ち水をしよう！” (平成23年度～)

区内の小学生を対象として、竹を使った昔ながらの水鉄砲作りと打ち水体験を実施。電力を使わずに気温を下げる打ち水を通じて、節電の啓発を行っている。

西 区			関連 ページ	札幌市	
22 年 度	4月	西区民会議ホームページをブログに移行(～24年度)	31		
	5月	区民協議会・企画部会設立	10		
		エコキッズ・プログラム(通年)	18		
		琴似発寒川の一斉清掃(春季)	7		
		やまめの稚魚放流	7		
		区民協議会・テーマ部会	10		
	6月	キャンドルナイト	8		
		区民協議会・本会議	10		
	7月	こども西区民会議「こども環境記者」	27		
		西区子ども体験学校	20		
	8月	ラジオ「楽しくステキにカーシェアリング！」放送開始(全8回)	29		
	9月	琴似発寒川の一斉清掃(秋季)	7		
		西区環境まちづくりリーダー講習会	25		
		区民協議会・テーマ部会	10		
	10月	電気自動車による公用車のカーシェアリングモデル事業開始*2	13		
	11月	エコタウンはっさむ「第2回さっぽろ環境賞」 循環型社会形成部門・札幌市長賞受賞	8		
	12月	西区こども環境広場	34		
	1月	区民協議会・テーマ部会	10		
	2月	地球に優しいまちづくりフォーラム	32		
		区民協議会・本会議	10		
23 年 度				3月	札幌駅前通地下歩行空間開通 札幌市みどりの基本計画策定
				4月	創成川公園オープン 円山動物園「は虫類・両生類館」オープン
	5月	琴似発寒川の一斉清掃(春季)	7		
		やまめの稚魚放流	7		
		区民協議会・テーマ部会	10		
	6月	エコキッズ・プログラム(通年)	18		
		キャンドルナイト	8		
		区民協議会・本会議	10		
	8月	ラジオ「新エネルギー・自然エネルギー」放送開始(全8回)	30		
		竹水鉄砲作り教室「竹水鉄砲で打ち水をしよう！」*3	14		
		キッズ・シェフ*4	17		
		西区子ども体験学校	20		
	9月	琴似発寒川の一斉清掃(秋季)	7		
		区民協議会・テーマ部会	10		
		西区環境まちづくりリーダー講習会	25		
	10月	サクラマス遡上観察会	7		
	12月	西区こども環境広場	34	12月	もいわ山観光施設リニューアル 第3次札幌新まちづくり計画策定
	1月	区民協議会・テーマ部会	10		
	2月	地球に優しいまちづくりフォーラム	32		
		区民協議会・本会議	10		

※青字が区民協議会主催の事業

西 区				関連 ページ	札幌市	
24 年 度	5月	琴似発寒川の一斉清掃(春季)		7		
		やまめの稚魚放流		7		
		区民協議会・テーマ部会		10		
	6月	エコキッズ・プログラム(通年)		18		
		キャンドルナイト		8		
		区民協議会・本会議		10		
	7月	西区子ども体験学校		20		
	7月	節電キャンペーン ^{*5}		17		
		ラジオ「ガマンいらずの気持ちイイ節電」放送開始(全8回)		30		
	8月	キッズ・シェフ ^{*4}		17		
		竹水鉄砲作り教室"竹水鉄砲で打ち水をしよう!" ^{*3}		14		
	9月	琴似発寒川の一斉清掃(秋季)		7		
		西区環境まちづくりリーダー講習会		25		
		区民協議会・テーマ部会		10		
		サクラマス遡上観察会		7		
	12月	西区こども環境広場		34	12月	円山動物園「わくわくアジアゾーン」オープン
	1月	区民協議会・テーマ部会		10		
	2月	地球に優しいまちづくりフォーラム		32	2月	札幌市まちづくり戦略ビジョン<ビジョン編>策定
		西区ウォームシェア in ちえりあ ^{*6}		17		
		区民協議会・本会議		10		
25 年 度	5月	情報発信の場をブログから西区役所公式ホームページに移行		31	3月	生物多様性さっぽろビジョン策定
		琴似発寒川の一斉清掃(春季)		7		
		やまめの稚魚放流		7		
		区民協議会・テーマ部会		10		
	6月	エコキッズ・プログラム(通年)		18		
		キャンドルナイト		8		
		西区環境まちづくりリーダー講習会		25		
		区民協議会・本会議		10		
	7月	西区コドモ自然学校 in SUMMER		19		
		キッズ・シェフ ^{*4}		17		
	8月	西区子ども体験学校		20		
		竹水鉄砲作り教室"竹水鉄砲で打ち水をしよう!" ^{*3}		14		
	9月	ラジオ「西区エコびと図鑑」放送開始(全8回)		30		
		琴似発寒川の一斉清掃(秋季)		7		
	10月	西区環境スタンプラリー ^{*7}		17	10月	札幌市まちづくり戦略ビジョン<戦略編>策定
		サクラマス遡上観察会		7		
		区民協議会・テーマ部会		10		
		西区コドモ自然学校 in AUTUMN		19		
	11月	区民協議会・本会議		10		
	12月	西区こども環境広場		34		
	1月	区民協議会・テーマ部会		10		
	2月	西区コドモ自然学校 in WINTER		19		
		エコトーク映画会		32		
		西区ウォームシェア in ちえりあ ^{*6}		17		
		区民協議会・本会議		10		

※青字が区民協議会主催の事業

西 区			関連 ページ	札幌市		
26 年 度	4月	団体名称を「西区環境まちづくり協議会」に変更	11	4月	札幌市青少年科学館リニューアルオープン	
	5月	琴似発寒川の一斉清掃(春季)	7			
		やまめの稚魚放流	7			
	6月	エコキッズ・プログラム(通年)	18			
		区民協議会・企画運営会議	11			
		西区環境まちづくりリーダー講習会	25			
		キャンドルナイト	8			
	7月	西区環境スタンプラリー* ⁷	17			
		西区子ども体験学校	20			
		キッズ・シェフ* ⁴	17			
	8月	西区コドモ自然学校 in SUMMER	19			
		竹水鉄砲作り教室"竹水鉄砲で打ち水をしよう!"* ³	14			
	9月	琴似発寒川の一斉清掃(秋季)	7			
		西区コドモ自然学校 in AUTUMN	19			
	10月	サクラマス遡上観察会	7	10月	札幌エネルギービジョン策定	
		西区こども環境広場	34			
		親子でエコキッズ・プログラム	19			
	12月	西区PTA子ども作品コンクール表彰式	20			
	1月	区民協議会・企画運営会議	11			
		ラジオ「わたしの提言エコトーク」放送	30			
	2月	西区コドモ自然学校 in WINTER	19			
		西区ウォームシェア in ちえりあ* ⁶	17			
		エコトーク映画会	32			
		区民協議会・全体会議	11			

※青字が区民協議会主催の事業



野菜の収穫とスープカレー作り

* 4 キッズ・シェフ (平成 23 年度～)

「収穫」「調理」体験を通して、食べ物の大切さや、環境に配慮した行動の大切さを学ぶイベント。区内の小中学生とその保護者を対象に西区小別沢「まほろば自然農園」での野菜収穫と、琴似のスープカレー店「らっきょ」の店主・井手剛氏の指導のもと自ら収穫した野菜でスープカレーを作る料理教室を実施。



手回し発電実験

* 5 節電キャンペーン (平成 24 年度)

夏の電力不足が懸念され、全国的に節電がうたわれていたことから、札幌市リサイクルプラザを会場に、家庭でできる節電方法を紹介したパネル展示や発電実験、節電実践度チェックなどを実施。



温かい飲み物の提供

* 6 西区ウォームシェア in ちえりあ (平成 24 年度～)

冬期間の省エネ・節電の取り組みとして、同じ空間に集まり暖かさと心を共有しエネルギーの消費を抑える「ウォームシェア」の取り組みを推進するため、ちえりあを会場に、餅つきや温かい飲み物の提供、体操などを実施。



ラリーシート

* 7 西区環境 スタンプラリー (平成 25 年度)

環境意識の向上を目的として、参加者が楽しみながら、札幌市リサイクルプラザや農試公園など、西区内の5カ所の環境スポットを回るスタンプラリー。

第3章 環境に優しいまちを実現するために ～活動紹介～

第1節 子ども向け環境教育

エコキッズ・プログラム

「エコキッズ・プログラム」とは、小学校や幼稚園などの団体を対象に、自然体験を通じて、地域愛や自然を大切にする心を育むことをねらいとして実施するもので、NPO法人あそベンチャースクールが企画運営しています。

主な活動としては、琴似発寒川や左股川に生息する魚や水生昆虫を観察しながら、川の生態系と水質を学ぶ「水生生物観察会」や、五天山公園や宮丘公園など、緑豊かな自然の中で植物や虫を観察し、自然界の不思議や仕組みを学ぶ「自然観察会」を実施しています。

また、秋には、かまど作りや薪を使った火おこしなどの古くからある炊飯方法を体験することで、かつて稲作が盛んに行われていた西野の歴史を学ぶ学習会、そして、冬には、雪像作りや雪合戦といった雪と親しむ野外活動など、季節に応じたさまざまな活動を行っています。

エコキッズ・プログラムの前身として平成16年度に開始した「水生生物観察会」は、当初、年に1、2回程度の実施でしたが、エコキッズ・プログラムと名称を変え、年々内容や規模を拡大したことにより、平成26年度は年間40回実施し、参加人数は2,600人を超えています。

なお、この事業は、札幌市環境プラザから、自然環境についての指導や解説を行う「札幌市環境教育リーダー」を、また、札幌市役所の環境局及び建設局から、水質や河川を専門とする職員を講師に迎えるなど、他部局との連携を図りながら、より専門的な内容の学習会となっています。



水生生物観察会



羽釜での炊飯作業



自然観察会



雪像作り



西区コドモ自然学校

平成 25 年度～

「西区コドモ自然学校」は、区民協議会設立 10 周年記念事業として始めたもので、エコキッズ・プログラムが区内の小学校や幼稚園などの「団体」を対象としているのに対し、「個人」を対象として、自然体験学習会を実施するものです。

夏は琴似発寒川上流の平和湖での水生生物観察会、秋は五天山公園で、色付いた草木を活用し自然遊びを楽しむ自然観察会、冬は雪の降り積もった三角山を登り、雪遊びや尻滑りを行う雪山体験と、四季折々の自然を満喫できるものとなっており、学校・学年の異なる子ども同士が交流し、友達の輪を広げる場にもなっています。



チューブでの水中観察



落ち葉を使った工作



三角山での雪遊び

自然遊び本「春夏秋冬～親子で遊びたい～」

平成 26 年度

区民協議会設立 10 周年記念事業として、西区ならではの四季折々の自然の楽しみ方や自然の中での遊び方をまとめた冊子「春夏秋冬～親子で遊びたい～」を作成し、区内の小学校、幼稚園、子育てサロン等に配付しています。

この冊子は、子育て中のお父さんやお母さん、保育園や幼稚園の先生などに活用してもらうことで、子どもが自然と親しむ機会を増やしてほしいと、西区環境まちづくりリーダー（25 ページ参照）が中心となって作成したもので、区内の山や川、公園で、誰もが気軽にできる季節に応じた自然遊びを、イラストや写真をふんだんに使って紹介しています。

平成 26 年 10 月 28 日には、未就園児の児童とその親を対象に、冊子に掲載されている自然遊びを取り入れた自然体験学習会「親子でエコキッズ・プログラム」を開催しました。



親子でエコキッズ・プログラム

自然遊び本
「春夏秋冬～親子で遊びたい～」



西区子ども体験学校

平成20年度～

「西区子ども体験学校」は、区内の小中学生を対象とする宿泊研修で、公益社団法人札幌市子ども会育成連合会西区支部が主催しています。

札幌市外での宿泊研修を通じて、参加した子どもが北海道のさまざまな土地やそこにある自然を知り、自分の暮らす地域との違いを感じることで、自分の暮らすまちの魅力を再発見することを目的として実施しています。

平成20～22年度は「登別市ネイチャーセンター ふおれすと鉱山」、平成23～25年度は「北海道立洞爺少年自然の家 ネイパル洞爺」、平成26年度は「国立日高青少年自然の家」と、3年おきに地域を変えて実施し、カヌーやラフティング体験、トウモロコシ収穫体験など、地域の特性を生かしたさまざまな自然プログラムを体験できるものとなっており、例年40～50人ほどの小中学生が参加しています。



洞爺湖でのカヌー体験



トウモロコシの収穫体験



ウッドクラフト作り

西区PTA子ども作品コンクール

「西区PTA子ども作品コンクール」は、区内の小中学生を対象に、「交通安全」「環境問題」「私の夢・主張」の3部門について作文・川柳・ポスターを募集するもので、札幌市西区PTA連合会が主催しており、例年、表彰式を実施するほか、公共施設や民間施設等での作品展示会を開催しています。

このコンクールを通じ、子どもの創作意欲が促進されるとともに、環境問題について考える機会を提供できることから、区民協議会では、表彰式や作品展示会の運営を支援しています。



表彰式



イオン札幌発寒店での作品展示会

第2節 省エネ・リサイクルの推進

木質バイオマス普及促進事業

平成 17～19 年度

間伐材等を利活用する木質バイオマス(※)は、その原料となる樹木が成長する過程においてCO₂を吸収することから、地球温暖化を防ぐための良質なエネルギーであると同時に、森林や木材が豊富な道内においては、輸送エネルギーの少ない地産地消型エネルギーに位置付けられています。

その中でも、間伐材や端材などをおが粉にし、小粒状に固めた「木質ペレット」を燃料とする「ペレットストーブ」は、木質バイオマスを活用する環境に優しいストーブとして注目されていたことから、ペレットストーブの普及促進を図るため、以下の事業を展開しました。

※ 木質バイオマス

バイオマスとは、再生可能な動物や植物などの生物由来の有機性資源であり、その中で木材からなるバイオマスを「木質バイオマス」と呼ぶ。木質バイオマスには、主に、樹木の伐採や造材の時に発生する枝、葉などの林地残材、製材工場などから発生する樹皮やのこ屑などのほか、住宅の解体材や街路樹の剪定枝などの種類がある。

* 新エネルギー講演会

北海道経済産業局、財団法人新エネルギー財団（現：一般財団法人新エネルギー財団）との共催により、淑徳大学教授・北野大氏を講師に迎え、「マー兄ちゃんのやさしい新エネルギー講座」を、平成 17 年 12 月 21 日に開催し、今後、活用が期待できる新エネルギー「太陽光、風力、バイオマス」や「省エネ」についての講演を行いました。また、講演会に併せ、木質バイオマスを燃料とするペレットストーブの燃焼展示も行いました。



淑徳大学教授・北野氏の講演

* 環境にやさしい森林エネルギーシンポジウム

森林エネルギーをテーマに、2部構成によるシンポジウムを平成 18 年 3 月 2 日に開催しました。第 1 部では、「木材を使うこと、海外の事例から」をテーマに、北海道大学大学院農学研究科助教授・柿澤宏昭氏による基調講演が行われ、海外の木材活用実例などが紹介されました。

第 2 部のパネルディスカッションでは、木質バイオマスの中で、とりわけペレットストーブの将来性などについて、意見が交わされました。

また、会場内外において、木質バイオマスのパネル展示やペレットストーブの燃焼展示も行いました。



パネルディスカッション「地域での木質エネルギーの利用を進めるために」

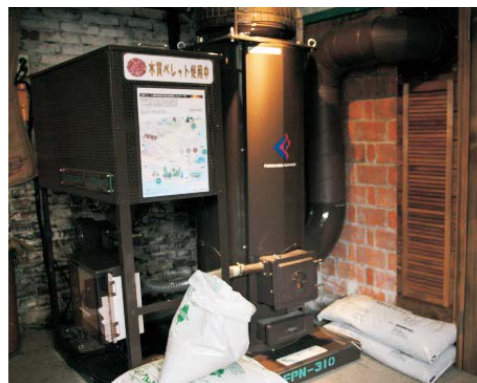
* 地球に優しい森林エネルギーセミナー

平成19年3月29日に、NPO法人北海道新エネルギー普及促進協会理事長であり、道内において木質バイオマス利活用普及の第一人者である大友詔雄氏を講師に招き、講演会を開催しました。木質バイオマスに関心を示す企業関係者などを対象に、最新の実証試験結果を紹介しながら、木質バイオマスの将来展望などについて講演しました。

* ペレットストーブモニター制度

一般家庭や商業施設などへのペレットストーブ導入を促進するため、平成18年度に「西区ペレットストーブモニター制度」を創設し、ペレットストーブの購入本体価格の半額（上限額5万円）を助成しました。本助成制度を利用し、平成18年度には5件、平成19年度には6件の一般家庭や店舗が、ペレットストーブを導入しました。

モニター第1号・Cafe-lunch 斉藤ファーム



新エネルギー教室

平成16～17年度

新エネルギー（※）の重要性と必要性を理解し、省エネルギーの推進による環境に配慮した生活の実現を目指し、北海道経済産業局及び財団法人新エネルギー財団（現：一般財団法人新エネルギー財団）との共催により、「新エネルギー教室」を計4回開催し、区内4校の小学生683人が参加しました。

この教室では、子どもが新エネルギーの実用性を体験しながら理解できるよう、ビデオ上映やクイズなどを交えた解説や、太陽電池を使ったソーラーカー模型を製作する工作教室が行われ、新エネルギーの実用性を肌で感じながら、楽しく学習しました。

※ 新エネルギー

石炭・石油などの化石燃料や核エネルギーに対する、新しいエネルギー源の総称。太陽光発電、風力発電などの自然エネルギーや、バイオマス（動物・植物などの生物由来のエネルギー）などがある。



クイズを交えながら新エネルギーを学習



ソーラーカーの製作



廃食油の独自回収

平成20年度～

廃食油（使用済みの天ぷら油）は、バイオディーゼル燃料（BDF）へのリサイクルが可能ことから、消防署やスーパーマーケットなど、札幌市が設置する既存の回収拠点に加え、西区では、平成20年11月から、町内会や小学校PTAなどでの回収を開始しました。現在では、区内17団体が30カ所の拠点（巻末資料40ページ参照）において、廃食油を回収しています。

廃食油のリサイクルを行うことで、ごみ減量につながることはもちろん、BDFにリサイクルされることにより、CO₂削減による地球温暖化や大気汚染の防止にも役立っています。



小学校に設置された回収ボックス

* 廃食油回収・リサイクルの見える化



区内における廃食油のリサイクル活動の普及を目指し、廃食油のリサイクル過程を解説するパネルを平成22年度に作成しました。パネルの作成にあたっては、エコライフ・リサイクル部会の委員らが、BDFの製造施設において、BDFの精製過程を見学したほか、BDFが使用されているごみ収集車両への給油の様子やBDFの燃料タンクを見学するため、西清掃事務所を訪問しました。

このパネルでは、回収された廃食油のBDF精製過程や、その利用方法について、わかりやすく掲載し、区内の公共施設やイベント会場で、パネルの展示を行うことで、「廃食油回収・リサイクルの見える化」を進めています。

リサイクル過程を解説するパネル



BDF製造施設の見学



ごみ収集車両へのBDFの給油

ごみダイエット 裏ワザ・裏側バスツアー

平成21年度

平成21年7月からの家庭ごみ有料化開始に合わせ、平成21年6月24日に、ごみを減量する「裏ワザ」について学ぶごみ処理施設見学ツアーを実施しました。このツアーには70人を超える区民が参加し、以下の施設を見学しました。

◆ リサイクルプラザ発寒工房(西区発寒15条14丁目)

「変身！生まれ変わる家具」

一般家庭から出された大型ごみの家具や自転車などが修理され、リユース品として販売されるまでの様子を見学。



自転車の修理



家具の修理の見学

◆ 発寒清掃工場(西区発寒15条14丁目)

「清掃工場 裏側探索」

家庭ごみ有料化の制度についての講習を受講し、ごみピット(ごみの貯留場所)等を見学。



発寒清掃工場



施設内の見学

◆ 札幌市リサイクルプラザ(西区宮の沢1条1丁目)

「おサイフと環境にやさしい暮らし方講座」

ごみの減量についての講習を受講し、リサイクル製品の販売を行っている市民交流広場を見学。



リサイクル家具の展示・販売コーナー



リユースコーナーの見学



第3節 次世代実践者の育成

西区環境まちづくりリーダー講習会

平成22年度～

「西区環境まちづくりリーダー講習会」は、子ども向けの自然体験学習の際に、指導や解説を行うことができる人材を養成するための講習会です。講習会の全課程を修了した受講者は「西区環境まちづくりリーダー」に認定され、西区こども環境広場(34ページ参照)やエコキッズ・プログラム(18ページ参照)、西区こども自然学校(19ページ参照)など、区民協議会や西区役所が主催する事業に参加し、子どもへの指導を行っています。また、この講習会では、国際的な環境教育プログラムである「プロジェクトWET(※1)」、「プロジェクトWILD(※2)」、「プロジェクト・ラーニング・ツリー(※3)」、「NEALリーダー(※4)」をカリキュラムに組み込むなど、国内外でも通用する資格を取得することができます。

平成26年度までに49人が「西区環境まちづくりリーダー」として認定され、西区のみならず札幌市内外で環境活動に携わっています。



AED講習



水生生物観察会の実習

※1 プロジェクトWET

地球上の水の循環など、水資源に対する知識や理解を深め、環境に対する責任感を促すことを目標とする教育プログラム。

※2 プロジェクトWILD

「自然や環境のために実践・行動できる人」を育成することを目標に、野生生物をテーマとした環境教育プログラム。

※3 プロジェクト・ラーニング・ツリー

樹木や森林をきっかけとして、自然に対する気付きに導き、環境問題に関心を持ってもらうことを目的とした環境教育プログラム。

※4 NEALリーダー(自然体験学習指導者)

キャンプ、登山、自然観察などのさまざまな場面で感性を磨いたり、土地の伝統文化や食文化に触れたり、専門的な知識と技術をもって自然体験活動の普及に貢献する人材を育成するプログラム。

こどもによるまちづくりを進める西区民会議

平成21～22年度

環境活動を継続し、発展させていくためには、次代の担い手である子どもたちの参加が重要であることから、子どもが主体となって、互いに連携し、協力しながら環境活動を行う推進母体として、平成21年度に「こどもによるまちづくりを進める西区民会議(呼称:こども西区民会議)」を設立しました。

こども西区民会議では、子どもが環境活動に参加する機会を充実させ、子どもの視点に立った環境活動を目指すために、毎年、活動テーマが設定され、以下の事業が展開されました。

*さんかくやまべえかるた(平成21年度)

「環境問題」をテーマに、西区の自然や環境について、子どもが簡単に理解し、遊びながら楽しく学ぶことができる環境ゲーム「さんかくやまべえかるた」を作成しました。

公募により選ばれた区内の小学4～6年生10人が「こども西区民会議委員」に任命され、三角山や琴似発寒川での自然体験や、区内の環境施設や農家などでの体験を通して感じたことを、標語とイラストで表現し、それらをかるとの読み札と絵札にしました。

このかるたは、区内の小学校や児童会館などに配布され、環境学習に活用されています。また、不要となった地下鉄車両広告のポスター台紙を再利用して「ジャンボエコかるた」を作成し、「西区こども環境広場(34ページ参照)」などのイベントの中で使用しています。



絵札の下絵作り



こども西区民会議委員と完成したかるた



* こども環境記者 (平成22年度)

公募により参加した区内の小中学生7人が「こども環境記者」となり、札幌市環境プラザや円山動物園などの環境関連施設を取材し、気象予報士などの専門家からの講義を受け、環境問題について学びました。

取材した内容は区民協議会のブログで発信し、子どもの視点からわかりやすい情報を提供しました。

また、12月に開催された「西区こども環境広場(34ページ参照)」において、取材内容や活動の様子を発表したほか、これまでの取材内容をまとめた壁新聞や、自ら考案し作成した環境すごろくを展示しました。



エルプラザの太陽光パネルを見学



環境すごろくの作成



環境活動手引き絵本

「さんかくやまべえが行く。」(平成19年度)

公募により参加した区内の小学4～6年生23人からなる「こども編集局」により、西区環境キャラクター「さんかくやまべえ」を主役とする環境活動の事例紹介と参加の手引きとなる絵本「さんかくやまべえが行く。」が作成されました。

こども編集局員は、環境活動に積極的に取り組んでいる企業や団体(円山動物園、北海道森林管理局、Cafe-lunch 斉藤ファームなど)の取材や自然体験学習会、そして編集会議を通じて、絵本のストーリーや絵本に登場するキャラクター3体(まるやまべえ・にーべえ・わるべえ)を考案し、絵本を完成させました。



西区環境キャラクター さんかくやまべえ



まるやまべえ



にーべえ



わるべえ

こども環境活動発表会

平成17年度～

こども環境活動発表会は、区内の小中学生が、日頃、学校や地域で行っている環境活動や自然体験学習の成果などを発表することで、それを聞く子どもや大人たちに環境問題に関心を持ってもらい、環境活動の実践につなげることを目的に開催しています。

平成18年度からは、札幌市西区PTA連合会が実施する「西区PTA子ども作品コンクール(20ページ参照)」と共同開催され、第1部では、西区PTA子ども作品コンクールの表彰式を行い、第2部の「こども環境活動発表会」では、最優秀賞受賞者による環境問題をテーマとした作文の朗読が行われるようになりました(発表者:巻末資料41ページ参照)。

また、平成22年度からは、より多くの区民に聞いてもらうことができるよう、「西区こども環境広場(34ページ参照)」の中で開催し、小中学生がステージ上での活動報告を行うほか、壁新聞や活動写真などの展示も行っています。



やまめの稚魚放流などの環境活動を発表(平和児童会館)



西区子ども体験学校での自然体験を発表(札幌市子ども会育成連合会西区支部)



第4節 メディアを用いた環境啓発

コミュニティFM「三角山放送局」にのせて

地域に根差すコミュニティFM「三角山放送局」を運営する株式会社らむれすが、区民協議会の取り組みを紹介するほか、時勢に沿った環境特集を企画し、以下の番組を放送してきました。



三角山放送局



ラジオの収録風景

* 西区エコびとマップ（平成16～18年度）

「西区エコびとマップ」では、地球環境や市民レベルの環境活動について、広く区民に情報発信するため、環境活動に熱心に取り組む区民をはじめ、企業・団体から毎回ゲストを招き、その個性豊かな活動内容を紹介しました（全32回、巻末資料42ページ参照）。

* 地球に優しいごみ出し大百科（平成21年度）

平成21年7月から札幌市において家庭ごみが有料化されたことに伴い、ごみ分別方法の変更やごみ有料化に関する広報企画番組「地球に優しいごみ出し大百科」を放送し、家庭で気軽にできるごみ減量・リサイクルを提唱しました（全13回）。

* 楽しくステキにカーシェアリング！（平成22年度）

西区役所が全国に先駆けて導入した「電気自動車による公用車カーシェアリング事業」を取り上げ、カーシェアリングの意義や利用者インタビュー、試乗体験レポートなどを放送しました（全8回）。

* 新エネルギー・自然エネルギー（平成23年度）

当時注目されていた新エネルギーや自然エネルギーに着目し、太陽光パネルを利用している公園や小学校の紹介、太陽光パネルを家庭で設置するとどのくらい光熱費が得になるかなど、身近な例を取り上げ、わかりやすく新エネルギー・自然エネルギーを紹介しました(全8回)。

* ガマンいらすの気持ちイイ節電（平成24年度）

全国的に節電がうたわれ、札幌市としても節電対策を重要な課題と位置付けていたことから、「行動する節電」をテーマに放送しました。「ガマン」「つらい」「面倒くさい」といった節電方法ではなく、ちょっとした行動や、家電製品の使用方法を少し変えるだけで、生活も気持ちよくなる節電方法を提案しました(全8回)。

* 西区エコびと図鑑（平成25年度）

アダプト・プログラムや廃食油回収など、地域で積極的に環境活動を行っている町内会、商店街、小中学校等からゲストを招き、区内で行われている環境活動を紹介しました(全8回)。

* わたしの提言エコトーク～これからの西区の環境活動～（平成26年度）

区民協議会設立10周年記念事業として、環境活動に熱心に取り組む地域住民、NPO法人、そして区民協議会が主催する環境関連事業にボランティアとして参加した市内の大学生による座談会形式の特別番組を放送しました。

エコタウンはっさむ(8ページ参照)の取り組みや、リフォーム教室・ごみ減量講座といったリサイクル事業など、これまで行ってきた環境活動を振り返るとともに、人手が足りず活動の規模が限られてしまうことや、これからの活動を担っていく人材が不足している状況についてなどを話し合い、問題意識を共有しました。

また、こうした現状に対し、各団体が相互協力するほか、意欲のある学生が活動に加わって地域の活性化を図り、人材不足の解決を目指すといった、提言がなされました。



わたしの提言エコトークの収録風景



さまざまなメディアにのせて

* ホームページ、ブログ

区民協議会の取り組みを広く周知し、区民一人一人に環境活動の実践を促すため、平成16年9月にホームページを開設しました。

開設当初は、主催事業の告知を主な内容としていましたが、平成17年12月からは、子どもたちが環境問題について意見や情報を交換する場として、掲示板機能を利用した「こどもエコne t・リーダー会議」を設けるなど、内容の充実を図りました。

また、これまでの活動事例やノウハウ等を世界に発信するため、英語版ホームページを平成19年3月に新たに追加し、国内外における環境コミュニティづくりを目指しました。

平成22年度からは、ブログに移行し、パソコンのほか携帯電話からも気軽に閲覧できるようにすることで、迅速な情報発信が可能となりました。ブログでは、区民協議会の環境活動のほか、三角山や琴似発寒川など、区内の自然についての情報も提供しました。

平成25年度からは、より多くの区民に周知するため、情報発信の場を西区役所公式ホームページに移行し、幅広い層に向けた環境啓発に取り組んでいます。



ブログを用いた情報発信

* 地域情報紙「ウォーク」

区内（一部地域を除く）に配布される地域情報誌「ウォーク」（発行：北海道新聞・区内販売所 編集：編集倶楽部310）では、区民協議会の活動記事を掲載するほか、三角山放送局で放送されたラジオ番組（29、30ページ参照）の内容を、より多くの区民に知ってもらうよう、その特集記事なども掲載しています。

* 広報さっぽろ西区版

広報さっぽろ西区版では、「省エネルギー」や「アイドリングストップ」といった日常的に出来る取り組みをコラムとして掲載したり、区民協議会の環境活動を詳細に掲載する特集記事を企画することで、地域に密着した、わかりやすいきめ細やかな情報提供を行っています。



広報さっぽろ西区版の紙面

第5節 区民とともに広げる環境活動

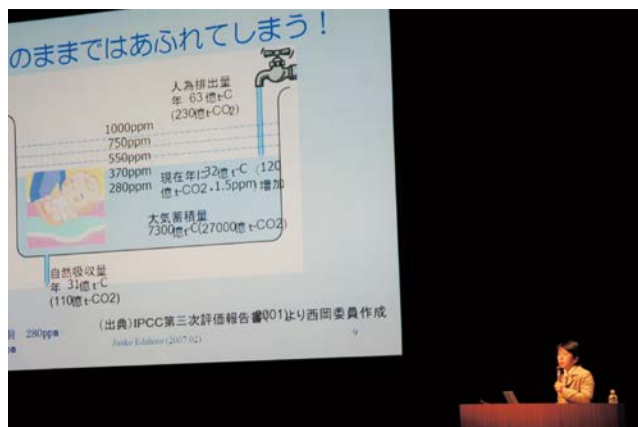
“地球に優しいまちづくり”活動報告会とセミナー

平成16～20年度

「“地球に優しいまちづくり”活動報告会とセミナー」は、区内で環境活動を行っている町内会、企業、小学校などの団体が、その活動の内容や成果を報告するとともに、他団体の活動事例を見聞きすることで、各々の活動の充実・発展を目指すこと、また、他団体との連携を促進することを目的として実施したものです。

このイベントでは、町内会や企業、小学校などにより、省エネや地産地消などの環境活動について発表されたほか、環境ジャーナリスト・枝廣淳子氏やNPO法人ねおす代表・高木晴光氏を招いての講演やパネルディスカッションも実施されました。

平成21年度からは、札幌市リサイクルプラザ（NPO法人環境り・ふれんず）主催の「エコトーク映画会」とともに開催し、事業名を「地球に優しいまちづくりフォーラム」と変更して実施しました。



枝廣氏の講演「地域から考える地球環境」

コラム

エコライフ宣言・西区1万人認定式

札幌市では、自分ができる環境行動について意思表示（宣言）することにより、環境に対する意識を高め、実践に結びつけるため、平成17年2月から「エコライフ10万人宣言」を実施しました。

区民協議会においても、この「エコライフ10万人宣言」への参加を積極的に呼び掛けた結果、西区は平成18年2月22日に10区の中では一番早く、宣言者1万人を達成しました。

これを記念し、同年3月24日に開催された「“地球に優しいまちづくり”活動報告会とセミナー」の中で、「西区1万人認定式」を行い、上田市長から西区で1万人目に宣言された区民に認定書が手渡されました。

コラム

エコトーク映画会

札幌市リサイクルプラザ（NPO法人環境り・ふれんず）の主催で実施しており、ちえりあホールを会場に、環境を題材とした講演と映画の上映を行っています。

これまで、北海道の環境保全についての対談や円山動物園獣医師による講演などが行われたほか、幅広い層に関心を持ってもらうことができるよう、ドキュメンタリー映画「アース」やアニメ映画「ウォーリー」、「ていだかんかん～海とサンゴと小さな奇跡」などの映画を上映しました。



円山動物園獣医師の講演

エコまち西区 d e リレーイベント

平成 20 年度

平成 20 年 7 月 7 日から 9 日まで、洞爺湖町で「北海道洞爺湖サミット（主要国首脳会議）」が開催されました。このサミットは、日本が議長国となり、北海道で初めての開催となったもので、地球温暖化対策を含めた環境問題が主要なテーマとなりました。

このサミットの開催にあわせ、区民の環境に対する意識を高めるとともに、環境活動への参加を呼び掛けるため、以下の事業を実施しました。

* さんかくやまベエと行く親子エコツアー

平成 20 年 6 月 21 日に、環境活動手引き絵本「さんかくやまベエが行く。（27 ページ参照）」で紹介されている施設を巡る見学会を実施しました。

見学施設

- ・ジャスコ札幌発寒店（現：イオン札幌発寒店）
- ・鈴木商会 発寒リサイクル工場
- ・リサイクルプラザ発寒工房
- ・Cafe-lunch 斉藤ファーム
- ・札幌市水道記念館
- ・円山動物園



ジャスコ札幌発寒店での施設見学

* みんな d e おもてなし清掃

平成 20 年 7 月 1 日に、地域住民やアダプト・プログラムに参加する小学校、企業などの団体が、区内の歩道や公園のごみ拾いを一斉に行いました。これは、サミットを機に来札する方を「きれいな街さっぽろ」に温かく迎えるため、「おもてなし清掃」として実施したもので、21 団体、1,429 人が参加しました。



琴似小学校児童による清掃活動

* 三角山 d e エコメッセージ

このイベントは、北海道洞爺湖サミット前日の平成 20 年 7 月 6 日に開催されました。西区のシンボルである「三角山」の山頂（※）に専用ポストを設置し、登頂した区民から、環境や三角山への想いなどを書いたメッセージを募り、三角山の標高 311 メートルと同じ 311 枚ものメッセージが寄せられました。

※サミット（summit）は、「首脳会談」のほか「山頂」を意味することから、北海道洞爺湖サミットの開催にかけて、三角山の山頂（サミット）にポストを設置した。



山頂のエコメッセージポスト

西区こども環境広場

平成22年度～

子どもたちに「見る」「聞く」だけでなく、さまざまな体験を通じて楽しみながら環境について学ぶ機会を提供するために、西区民センターを会場として、体験型の環境イベントである「西区こども環境広場」を、平成22年度から開催しています。

区民協議会の構成団体が中心となり、自然体験、省エネ・リサイクル、地産地消など各団体の専門分野をテーマに出展しており、来場者がイベントへの参加を通じて、身近な環境問題に関心を持ち、環境活動に参加するよう促すことを目的に実施しています。

また、アダプト・プログラムや水生生物観察会など、日頃から取り組んでいる環境活動を子どもたちが発表する「こども環境活動発表会(28ページ参照)」も併せて実施しています。

平成26年度は、区民協議会設立10周年記念事業と位置付け、西区民センター館内のほか、屋外も会場とし、身近な環境問題である「食」をメインテーマとして開催しました。例年より規模を拡大し実施し、子どもだけではなく、大人も楽しみながら環境について考えてもらうため、料理研究家・星澤幸子氏による特別講演会や、地元で採れたリンゴや小松菜などの果物や野菜を生産者が直接販売する直売会も同時開催し、400人を超える区民が来場しました。



木の实を使ったクリスマスリース作り



生ごみのたい肥化体験



うちわでの風力発電実験



西区産の野菜と果物の販売



第4章 活動者の声 (敬称略)

自然豊かな西区を未来へ

二十四軒連合町内会 会長 河崎 快二



設立10周年。平成16年5月の設立時に発起人のひとりとして名を連ねた私にとっては、この記念すべき年を迎えられたことを、大変感慨深く感じております。

西区は札幌市の中でも、とりわけ自然に恵まれた区であります。その恵まれた自然を後世に引き継ぐため、西区内の全ての連合町内会をはじめ、多くの団体が手を取り合い、この区民協議会を立ち上げました。単なる話し合いをする場ではなく、区民一人一人が自分たちの住んでいるまちをよりよくするために行動できる場にしていきたい。そういった思いから、設立趣旨書は作られました。そして、設立記念講演会のステージの上で、その趣旨に賛同し集まっていた300人を超える方々を目前にし、西区を愛する地域住民らの心意気に感動したのと同時に、新たなステージへの幕が開いたのだと身が引き締まる思いを感じたことを、今でも鮮明に覚えております。

環境活動を行うことでもたらされる変化が、目に見えるかたちになるまでには、長い長い年月が必要かもしれません。しかし、私は、10年前に目指していた理想のまちに向けて、一歩ずつではありますが、着実に歩み続けていることを確信しております。

「継続は力なり」という言葉のとおり、これまで行われてきた活動が、未来に引き継がれること、また、活動の輪がさらに広がっていくことを願っております。

子どもたちの笑顔のために

西野連合町内会 会長 佐藤 功悦



西区の豊かな自然は、この地を開拓した先人達から、現在の私たちが引き継いだ財産であり、誇りであります。その自然に恵まれた西区を愛する思い、そして、未来の子どもたちに引き継ぎたいという思いから、長年、地域住民が中心となって、多くの取り組みが行われてきました。

平成元年に平和湖で、当時、当町内会の会長であった前鼻正守氏の呼び掛けがきっかけで始まったやまめの稚魚放流も、今や、区内の全地域を巻き込み、西区の春の風物詩として、すっかり私たちの暮らしに定着しています。

私も、この事業に長年携わってきましたが、印象に残っているのは、やはり、子どもたちの姿です。子どもたちが真剣に取り組む姿、また、稚魚を放流する時の溢れんばかりの笑顔。その一生懸命な姿を見ると、この子どもたちがこれからの西区をつくっていくのだと、そして、子どもたちの笑顔を守るために、この豊かな自然を守っていきたくて改めて実感いたします。また、このような活動を通して、人々の絆が深まり、さらに広がっていくのを感じています。

このような地盤がある西区だからこそ、区民協議会の設立に至り、10年を経た現在においても、その活動は継続されているのだと思います。これからも、未来の子どもたちの笑顔のために、地域一丸となった環境活動が行われるまちであり続けることを祈念いたします。

次世代の若者に期待をこめて

NPO法人環境り・ふれんず 代表理事 東 飛郎



私どもは主に「西区独自の廃食油の回収」や「ごみ減量について改めて考えるためのエコトーク映画会」などで、西区環境まちづくり協議会の皆さんの協力を得ながら、ごみ減量・リサイクルの啓発活動をさせて頂いています。

10年前は「リサイクル(再資源化)」という言葉が主流で、「リデュース(ごみの発生抑制)」「リユース(再使用)」なんて聞きませんでしたが、最近ではテレビCMに流れたりもして、ずいぶん3Rが浸透してきたように感じます。優先すべきはリデュースとリユースで、それでも出てしまったごみをリサイクルという順番が望ましいのです。

最近、学生ボランティアの方々と一緒に活動をする機会があるのですが、ほとんどの学生さんが3Rのことを知っていてビックリすると同時に頼もしく思います。そんなときはよく「実は10年前の西区民会議のイベントに参加していた子どもたちが大人になって、一緒に活動してくれているかもしれない!」などと考えてしまい一人で感動しています。

近年、札幌市では「小型家電のリサイクル」「古着のリユース」などが始まるなど、ごみの情報は、比較的早いサイクルで更新されていきます。西区は環境推進区として、そういった情報をいち早く発信するとともに、先駆的な環境活動を実践してきました。これからも、今までのスキルを生かし活動していくとともに、将来的には西区が他区を牽引していけるような存在になり、未来を担う子どもたちに豊かな自然を残していければと思います。

豊かな水辺環境は、西区の宝

NPO法人あそベンチャースクール 代表理事 田中 住幸



西区環境まちづくり協議会の事業として、区内の幼稚園や保育園、小学校などに出向いて、自然体験活動の機会を提供する「エコキッズ・プログラム」を担当しています。

1年間に約40件延べ2,000名の子どもたちが参加してくれています。人気のプログラムは、琴似発寒川や左股川での「水生生物観察会」です。箱メガネと呼ばれる水中をのぞくことのできる道具を持って、大きなチューブに腹ばいで乗りこみ川を流れながらの水中観察は、子どもたちはもちろんのこと引率の先生たちにも喜ばれています。

1回目は「何も見えないよ～」なんて言っていた子どもたちが、2回、3回と繰り返すうちに「あつ、いた～!」と生き物を発見し、喜びの声をあげてくれます。川底でじっと隠れているハナカジカやフクドジョウ、流れに逆らうように元気に泳ぐヤマメやウグイ、時にモズガニや川エビなどなど、驚くほどさまざまな生き物を観察することができます。よく見て、自分のからだを使って直接ふれることで、身近な自然への愛着もわき、大切にしようと思う気持ちが生まれてくるものだと思います。

今後も継続して、西区の宝である豊かな水辺環境をいつまでも大切にしようとする地域を愛する気持ちを子どもたちの心に育ていくことができればと思います。



西区の魅力を再発見

公益社団法人札幌市子ども会育成連合会西区支部 副会長 中野 眞理子



私たち子ども会は、西区の小学生を対象に、札幌市外の施設に宿泊し、実践型の環境「エコ」学習に取り組んでいます。

「登別ネイチャーセンター ふおれすと鉱山」では、「アカソ」という多年草の葉を子どもたちと集め、鉱山の川の水で煮出し、白いハンカチを染め上げ、鉱石を掘った穴の跡や石の中に存在する金などを見たり、鉱山の歴史を学びました。

「北海道立洞爺少年自然の家」での宿泊では、洞爺湖でカヌー、藍染の体験をしました。

昨年は、「国立日高青少年自然の家」に宿泊し、沙流川でボートラフティング、ボディラフティング、日高に自生するトドマツの板を使って焼板クラフトの体験をしました。

3年間、同じ施設で環境活動をしなればいけないので、活動内容に変化をつけるのに苦労はありますが、子どもたちのエコ活動に対してがんばっている姿を見て、子どもたちから元気のパワーをもらっています。

これからも、地域環境や自然を幅広く、深く知り、自分たちの街や地域との違いも気づいてもらい、西区の魅力を再発見し、子どもたちとエコ活動に取り組んでいきたいと思っています。



春の琴似発寒川

地球に優しいまちづくりを進める西区民会議 設立趣旨書

今日、地球の環境は驚くほど深刻な事態に陥っています。

「大量生産・大量消費・大量廃棄」に象徴される 20 世紀という時代は、森林破壊や大量のエネルギー消費による温暖化、フロンガスによるオゾン層の破壊といった地球環境問題を引き起こしています。地球の存続が危ぶまれているのです。

21 世紀を迎えた今、私たちには、未来の世代が持続的に地球からの恩恵を享受できるよう、これまでの社会経済の仕組みやライフスタイルのあり方を見直すことが求められています。

私たちが暮らすこの札幌は、全国平均を上回るエネルギー消費都市であり、地球温暖化の一因となる二酸化炭素の排出量も全国水準を大きく上回るなど、地球環境保全の面では決して優等生とは言えません。

四季折々美しい情景を奏でる札幌であり続けるために、地球環境保全の取組みは緊急の課題であるといっても言い過ぎではないかと思えます。

私たち西区民は長年にわたり、町内会によるボランティア清掃をはじめ、琴似発寒川の一斉清掃や稚魚放流事業、アダプト・プログラムなど自然環境の保全やごみのない美しい地域づくりに区民あげて取り組んで参りました。

こうした地道な活動の積み重ねを持っている西区だからこそ、札幌のため、地球のためにできることがあるのではないかと。

私たちはそう考え、この機会に、『地球に優しいまちづくりを進める西区民会議』を設立いたします。この『西区民会議』は、地球環境のために自ら行動したいと考える誰もが気軽に参加できる場とするとともに、美しい地球を未来の世代にしっかりとバトンタッチすることに大きく寄与していきたいと考えます。

この問題に関心を寄せる、あらゆる市民、町内会、企業、学校、ボランティア団体、NPO 等の皆さん方にご参加いただき、「世界に誇れる環境の街さっぽろ」の実現に向けて取り組んで参ります。

趣旨をご理解いただき、なにとぞ、ご支援・ご参加を賜りますようお願い申し上げます。

平成 16 年 5 月
発起人一同

【設立発起人】

発起人代表	近藤 勝雄	西区連合町内会連絡協議会 会長 発寒北連合町内会 会長	早川 俊二	西区中学校長会 会長 八軒中学校 校長
	本間 勝	八軒連合町内会 会長	戸羽 篤也	西区 P T A 連合会 会長
	加藤 光雄	八軒中央連合町内会 会長	今西 福美	西区お母さんの集い連絡協議会 会長
	山口 良勝	琴似連合町内会 会長	藤本 好夫	西区商店街連絡協議会 会長
	河崎 快二	二十四軒連合町内会 会長	続橋 昭	西区料飲店組合連合会 会長
	碓 博志	二十四軒東連合町内会 会長	安田 譲	札幌西建設販業協会 会長
	細道 政晴	山の手連合町内会 会長	栗津 英司	札幌商工会議所中小企業相談所 西支所長
	目黒 清	発寒連合町内会 会長	木原くみこ	株式会社らむれず 代表取締役
	原田 光雄	西町連合町内会 会長	佐藤 壽	株式会社佐藤水産 代表取締役
	佐藤 功悦	西野連合町内会 会長	敦賀 幸夫	札幌西郵便局長
	中村 治弘	昭和連合町内会 会長	八反田元子	札幌市西区長
	竹本 正雄	小学校長会 西支部長 発寒東小学校 校長		



西区民会議のあり方

(平成19年6月28日開催幹事会資料より)

○ 多様な活動の推進を強化する。

多岐にわたる環境の活動分野に応じ、細分化した機動性のある実践推進体(テーマ部会)を新たに構築し、西区民会議の機能強化を図る。

○ 自主的な企画・実践を通じた活動の地域定着力を強化する。

段階的に、テーマ部会による企画及び実践・自主運営を行い、区民個々又は地域の状況にあった息の長い活動の推進へと強化を図る。

○ 連携力を強化する。

活動分野の細分化(縦系)による活動促進の補完・支援として、相乗的効果が期待できるテーマ間連携活動や情報共有などを推進する調整機能を西区民会議・本会議(旧:幹事会)が担い、テーマ活動の連携力の強化を図る。

西区民会議・今後の展開方針

(平成25年6月27日開催本会議資料より)

○ 多様な市民・団体の参加と連携

- ・子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層の参加や、新たな企業、団体の参加を促すなど、多様な市民や団体の参加を促す方策を検討する。
- ・西区民会議の構成団体間の交流を促進し、連携強化を図ることで、より効果の高い事業企画を検討する。

○ 継続可能な組織形態

- ・西区民会議は、積極的に環境活動を行っている団体で構成することとし、活動実態に合わせた組織形態に再編する。
- ・時々の活動状況や西区民会議構成団体の実情に照らし、会議組織自体が常に活性化した状況を維持できるよう努めるとともに開かれた組織形態を目指す。

農試公園のポプラ並木





No.	区分	団体名	回収 拠点数	開始年月
11	小学校	二十四軒小学校PTA	1	平成20年 11月
12	小学校	発寒西小学校PTA	1	平成20年 11月
13	小学校	平和小学校PTA	1	平成21年 6月
14	小学校	発寒東小学校	1	平成23年 4月
15	商店街	ハツキタ倶楽部	5	平成20年12月
16	商店街	エコタウンはっさむ	6	平成21年 2月
17	区民 協議会	西区環境まちづくり協議会 ・琴似二十四軒まちづくりセンター ・西町まちづくりセンター ・発寒北まちづくりセンター ・西野まちづくりセンター ・山の手まちづくりセンター	5	平成22年 1月



こども環境活動発表会・発表者

年度	発表者	発表タイトル
17	福井野小学校3年生	左股川のひみつをさがれ！
	発寒東小学校5年生	私たちの省エネ
	西小学校5年生	やさしさ調査隊～人と環境にやさしい自動車～
	山の手小学校6年生	アダプト・プログラムから見た環境
	P T A作品コンクール最優秀賞受賞者	自分たちができること(作文朗読)
18	山の手小学校6年生	アダプト戦隊ヒロウンジャー
	発寒南小学校4年生	発寒川探偵団～琴似発寒川の生き物調べ～
	山の手南小学校5年生	環境調査活動で国際交流
	エコライフ宣言・西区2万人目認定者	公害病と環境問題
	P T A作品コンクール最優秀賞受賞者	環境問題について(作文朗読)
19	さんかくやまエコ・サミット	山の手つ子 エコ行動宣言
	発寒東小学校4・5年生	ごみレンジャーと考えよう フードリサイクル
	イオン札幌発寒チアーズクラブ	エネルギー・自然への取り組み
	「さんかくやまベエが行く。」こども編集局	私たちの絵本づくり
	P T A作品コンクール最優秀賞受賞者	環境問題について(作文朗読)
20	エコタウンはっさむジュニアリーダー	4 R(※)って知ってますか？
	西園小学校ミニ児童会館	西区児童会館『ミニシティ』の清掃局に参加して
	札幌市子ども会育成連合会西区支部	西区子ども体験学校 E C O & 自然探検隊
	P T A作品コンクール最優秀賞受賞者	地球～夢をつかむために行動すること(作文朗読)
21	平和児童会館	平和児童会館のエコ活動
	札幌市子ども会育成連合会西区支部	西区子ども体験学校 E C O & 自然探検隊
	こども西区民会議	西区“さんかくやまベエかるた”づくり
	P T A作品コンクール最優秀賞受賞者	地域の川、琴似発寒川を見つめて(作文朗読)
22	札幌市子ども会育成連合会西区支部	西区子ども体験学校 E C O & 自然観察体験隊
	こども西区民会議	こども環境記者活動報告
	西野第二小学校ミニ児童会館	地域の自然となかよく
	P T A作品コンクール最優秀賞受賞者	たった一つの地球のために(作文朗読)
23	札幌市子ども会育成連合会西区支部	西区子ども体験学校 E C O & 自然観察体験隊
	西陵中学校	西陵の環境活動
	P T A作品コンクール最優秀賞受賞者	地球の環境問題(作文朗読)
24	山の手小学校6年生	山の手いいまちプロジェクト ～アダプト・プログラム活動からチームアダプトへ
	札幌市子ども会育成連合会西区支部	西区子ども体験学校 E C O & 自然観察体験隊
	陵北中学校	陵北中学校ボランティア活動報告
	P T A作品コンクール最優秀賞受賞者	地球は今・・・(作文朗読)
25	札幌市子ども会育成連合会西区支部	西区子ども体験学校 E C O & 自然観察体験隊
26	キッズ・シェフ参加児童	キッズ・シェフ活動発表
	区内児童会館	探検！発見！自然アドベンチャー
	山の手小学校6年生	住みよい山の手をつくる

※4 R 札幌市が推進するごみを減らすための環境行動を表すキーワードで、全国的に推進されている3R「リデュース(Reduce・ごみの排出抑制)」「リユース(Reuse・再利用)」「リサイクル(Recycle・再生利用)」に「リフューズ(Refuse・ごみの発生抑制)」を加えたもの。

西区エコびとマップ テーマ・ゲスト一覧

(敬称略)

月	平成16年度	平成17年度	平成18年度
4月	—	西野商店街振興組合の活動 西野商店街振興組合 理事長 大森 健未 (株)大森園代表取締役)	山の手南小学校の環境活動 山の手南小学校 教諭 櫻田 隆広
5月	—	琴似発寒川の一斉清掃、稚魚放流事業 発寒連合町内会 会長 目黒 清 (川の美化事業実行委員会委員長)	琴似小学校の環境活動 琴似小学校 教諭 菅野 光明
6月	—	エコドライブとアイドリングストップ 啓発取組 社団法人日本自動車連盟札幌支部 事業課課長 鈴木 典章	キャンドルナイト in 琴似 ライトダウン呼びかけ等特別番組
7月	—	西区PTA連合会の取組と環境家計簿 西区PTA連合会 会長 阿部 ひとみ	イベントのエコ化について NPO法人環境り・ふれんず 理事 石塚 祐江
8月	アダプト・プログラム活動 宮の沢1条町内会 会長 南沢 勝雄	水生生物観察会 福井野小学校 教諭 関根 禎典	ベレットストーブモニター制度開始 ベレットストーブ使用者 岩井 尚人
9月	リサイクルプラザ宮の沢について NPO法人環境り・ふれんず 理事 石塚 祐江	美味しいエコフェスタ 美味しいエコフェスタ実行委員会 副委員長 伊藤 正寿 (昭和連合町内会会長)	美味しいエコフェスタ スーパカレー札幌らっきょ オーナーシェフ 井手 剛 (有)スパイス・ゴーゴー 代表取締役)
10月	発寒南小学校の環境への取組 発寒南小学校 校長 鈴木 義行	発寒地区のアダプト・プログラム クリーンなまちづくり発寒市民の会 代表 源光 正晴 (有)源光金物店代表取締役)	イオン(株)の環境活動取組 ジャスコ札幌発寒店 副店長 吉田 孝
11月	西区ホタルの会の活動 西区ホタルの会 事務局長 小島 茂幸	kids' ISO 14000 プログラム エコキッズネット北海道 エコキッズインストラクター 溝渕 清彦	さっぽろエコライフ10万人宣言 浪岡 万里子(西区2万人目宣言者) 浪岡 真衣(西区2万1人目宣言者)
12月	琴似商店街振興組合の環境活動 琴似商店街振興組合 理事・環境委員 久保田 憲明 (有)クボタスポーツ代表取締役社長)	こども環境活動発表会・発表を終えて 発表児童及び担当教諭 (福井野小学校、発寒東小学校、西小学校、山の手小学校)	さっぽろエコライフ10万人宣言 西野 トミ子 (市内10万人目宣言者・西区在住)
1月	西区食生活改善推進員協議会の活動 西区食生活改善推進員協議会 会長 工藤 レイ子	新エネルギー・木質バイオマスの活用と ベレットストーブの現在について NPO法人北海道新エネルギー普及促進協会 専務理事 志和 武蔵 幹事 石崎 健二	ベレットストーブモニターとなって ベレットストーブモニター第1号 斉藤 一雄(Cafe-lunch 斉藤ファーム)
2月	コープさっぽろの環境活動 生活協同組合コープさっぽろ 品質管理センター 環境対策担当 今川 元	食育・地産地消とエコクッキング NPO法人食育・自然経済協会 理事長 杉山 佐智代	“地球に優しいまちづくり”活動報告会 とセミナー 活動報告者(録音)
3月	西町連合町内会の取組 西町連合町内会 会長 原田 光雄	さっぽろエコライフ 10万人宣言への取組 琴似連合町内会 環境衛生部長 森 茂 (バームハイツ琴似町内会会長)	3年間の活動を振り返って(最終回) 札幌市西区市民部地域振興課 環境活動担当係長 伊東 正則

西区環境まちづくり協議会の構成団体

(平成27年3月現在)

全体会議

八軒連合町内会
八軒中央連合町内会
琴似連合町内会
二十四軒連合町内会
二十四軒東連合町内会
山の手連合町内会
発寒北連合町内会
発寒連合町内会
西町連合町内会
西野連合町内会
昭和連合町内会

小学校長会西支部
札幌市西区PTA連合会
札幌市西区商店街連絡協議会
札幌商工会議所中小企業相談所西支所
札幌西建設建販業協会

NPO法人 環境り・ふれんず(企画運営会議・代表)
NPO法人 あそベンチャースクール(企画運営会議・副代表)

西区役所

企画運営会議

NPO法人 あそベンチャースクール
公益社団法人 札幌市子ども会育成連合会 西区支部
イオン北海道(株)イオン札幌発寒店
札幌市西区PTA連合会 環境委員会
NPO法人 環境り・ふれんず
北海道電力(株)札幌西支社
西区食生活改善推進員協議会
(株)らむれす(FM三角山放送局)
編集倶楽部310
琴二四地区赤信号の会

西区環境まちづくり協議会設立 10 周年記念誌
環境に優しいまちを目指して

平成27年3月発行

発行・編集 西区環境まちづくり協議会
(事務局) 札幌市西区市民部地域振興課
〒063-8612 札幌市西区琴似2条7丁目
Tel 011-641-6926 Fax 011-641-2455



